



杉山たかひのニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 TEL35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 TEL35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ <http://yaplog.jp/jcpnishisugi/> (携帯電話も)

今年の国保料のモデルケース

給与収入 356 万円 4人世帯では
40 万 7740 円 (前年 39 万 6640 円)

*今年は特別減免あり

年金収入 253 万円 2人世帯では
18 万 6960 円 (前年 18 万 640 円)

負担増の主因として、西宮市は、医療等給付費の増加、所得減を上げています。しかし、根本には国の補助金引き下げが、高すぎる国保料の原因となっています。

現在、西宮市の国民健康保険料は、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分に分かれています。下表のように、二〇一一年度の保険料を算定するための所得割料率、均等割、平等割の金額は引き上げとなり、上表モデルケースの給与所得で356万円4人世帯、年金収入253万円2人世帯では、負担増となります。

五月三十一日、西宮市は二〇一一年度国民健康保険の保険料率を決定。二億五千万円の市税繰り入れを継続、増額を予定しています。が、前年と比べると、約3%の引き上げとなります。

二〇一一年度国民健康保険の保険料率が決定
国保料 約3%の値上げに

2011年度西宮市国民健康保険の保険料率

	医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
	今年	前年	今年	前年	今年	前年
所得割料率	6.8%	6.7%	2.2%	2.1%	2.0%	1.9%
均等割(一人当り)	27360円	26160円	7920円	7440円	11400円	11400円
平等割(1世帯当り)	20640円	19920円	5760円	5520円		
賦課限度額	50万円	47万円	13万円	12万円	10万円	10万円

福島県いわき市

災害ボランティアに参加しました

日本共産党西宮市会議員
団は、五月十六日から3日
間の日程で、福島県いわき
市で災害ボランティア活動
に取り組みました。

在来線が不安定というこ
とで、郡山まで新幹線、い
わき市へのルートでした。

郡山・いわき間でもブルー
シートがかけられた家屋が
多数見られました。

いわき市は西宮市の十二
倍以上の非常に広大な市域
で、内陸部は地震による比
較的小さな被害、海岸沿い
では津波による壊滅的被害
と、地域による格差があり
ます。

ボランティア活動は、四
倉、豊間という海岸部で、
津波により流された住宅の
ガレキや家財道具、海砂な
どの片付けでした。

豊間では、継ぎ足された
防波堤が津波により破壊さ



れ無惨な姿が見られました
が、鉄筋が入っていないかっ
たとのこと。また、最初の
津波を逃れた方が一旦戻ら
れ、次の波で被害が出たと
のこと、あらためて津波
の怖さを感じました。

往復に時間を要し、一日
半のしかとれませんでした
が、二〇人を超えるグルー
プでのボランティア活動は、
大変喜んでいただきました。

多くのみなさんの力を集め
て、救援、復旧、復興へと
すすんでいけばとの思いを
強くしました。

被災地から遠くはなれた
西宮ですが、できることは、
たくさんあります。

引き続き、東日本震災
支援に力を尽くしていきたい
と思います。

